

事業名	防疫推進事業費	財務コード (事業)	062204
-----	---------	---------------	--------

細事業名	その他事業経費(防疫推進事業費)
------	------------------

担当部課室	農政 部 農業技術 課 鳥獣害対策 担当 (内線)	5372
-------	---------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 S24 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	農業者	病害虫発生予報や、農薬の適正使用についての情報を得ることができる。	植物防疫の推進
事業の内容 主に 24年度	<p>事業目的 県内全域の農作物の病害虫被害のまん延を防止するため、病害虫防除員による病害虫発生状況調査・防除指導等植物防疫の推進を図るとともに、安全・安心な農作物を生産するため、農薬の適正使用の啓発を図る。</p> <p>事業内容 1 病害虫防除員の設置 市町村の区域毎に病害虫防除員を設置して、地域ごとの病害虫の発生状況等の情報を迅速に収集し、病害虫発生予報に活用するとともに、農薬の適正使用・危害防止の指導を行う。 H24 57名を委嘱 2 農薬の適正使用の啓発 病害虫防除基準・農薬適正使用指針を作成、配布し、農薬の適正使用を推進 H24 500部作成 3 農薬危害防止の啓発 国が実施する「農薬危害防止運動」と併せ、農薬使用の多い6~9月を「山梨県農薬危害防止運動」と定め、農薬の適正使用、適正管理の徹底を図る。 H24 農薬危害防止運動ポスター 400部作成 4 植物防疫ネットワーク(JPP-NET)による植物防疫に係る情報収集・報告 (社)日本植物防疫協会の運営するネットワークを利用して、国への報告、全国の病害虫の発生状況や農薬登録情報等を収集</p>		
	根拠法令等	植物防疫法、山梨県農作物の病害虫防除に関する条例、農薬取締法	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	病害虫防除員1人あたりの活動回数	169回	164回	164回	164回	164回	活動指標 目標設定の考え方 病害虫防除員の活動状況と、関係機関等への必要配布部数から設定 データの出典等 予算書、植物防疫年報
	作成部数(指針+ポスター)	900部	900部	900部	900部	900部	
	活動指標達成率(実績値/目標値)			%			
成果指標	残留基準超過事例及び事故件数	0件	0件	0件	0件	0件	成果指標 目標設定の考え方 残留基準超過事例や農薬による事故の発生を未然に防止する観点から設定 データの出典等 植物防疫年報
	成果指標達成率(実績値/目標値)			100.0 %			
	決算額、予算額	1,950		1,967	2,107	2,115	
(千円) うち一財額	669		566	754	773		
所要時間(直接分)	2,100 時間		2,000 時間	1,900 時間	1,900 時間		
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	2,100 時間		2,000 時間	1,900 時間	1,900 時間		
人件費1st 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	4,305		4,100	3,895	3,895		

これまでの事業の見直し・改善状況

病害虫発生予報についてはH20.12から、病害虫防除基準・農薬適正使用指針についてはH25.3からHPに掲載している。

### 活動量と成果の判断 (平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方	数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H24年度活動指標達成率		病害虫防除員1人あたりの活動回数は、目標164回に対し実績164回、達成率100.0、指針・ポスターの作成は、目標900部に対し実績900部、達成率100.0%となっており、予定どおりの活動量があった。	
	b		

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方	必ず記入すること
H24年度成果指標達成率		平成24年度の残留基準超過事例及び事故件数は、0件となっている。病害虫防除員から地域ごとのきめ細かい病害虫の発生状況等の情報を迅速に収集し、よりの確な予報を発表することにより、病害虫被害の蔓延防止につながっている。	
b	b	病害虫防除基準・農薬の適正使用指針に基づいた指導により、安全・安心な農産物の生産につながっている。また、幅広く啓発活動を行うことにより、農薬による事故の未然防止につながっており、意図した成果はほぼ上げている。	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

### 見直しの必要性 (平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価 (担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄  
 必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価 (担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

### 見直しの方向 (平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。